

科目名	学習指導と学校図書館				
担当者氏名	植原 和彦				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上			

《授業の概要》

児童生徒が自ら学び考える能力を育成する上で、学校図書館は、学校の教育課程の展開に寄与する役割がある。学校を支えるための学校図書館の役割を踏まえ、教育課程の編制・実施、学校図書館メディア活用能力の育成、学校図書館と司書教諭の役割などについて、学習指導実践例の分析・考察を通して理解を図る。また、児童生徒や教師・地域に対しての学校司書の役割を理解することで学校図書館メディア活用能力の育成を図る。

《授業の到達目標》

司書教諭として児童生徒の情報活用能力の育成の重要性を教職員に認知させ、そのためには「学びの手法」育成のためのリーダーシップをとることのできる力を身につけることを目標とする。

《成績評価の方法》

試験の成績30%、授業内課題40%、レポート30%により評価する。

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

適宜指示する。
その他資料については、授業中に配布する。

《授業時間外学習》

復習に重点をおき、第1回～7回に関しては、講義した内容についてレポートをする。講義の最初に第2回～8回では、そのまとめた内容を議論し深める。
第8回～13回では、演習で作成した指導案及び指導法を分析した上で修正を加えさせ、次の講義において、議論をおこなう資料とする。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園・小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	学校図書館とは	学校教育目標と学校図書館（学校教育目標を達成するための学校図書館の在り方）
2	教育課程における学校図書館	教育課程と学校図書館（教育課程を展開していく上での学校図書館の役割等）
3	司書教諭	児童・生徒の図書館メディア活用能力の育成と司書教諭の役割
4	レファレンスの意義	レファレンスにおける資料の選択とネットワーク情報資源
5	教師への支援	教師への支援と働きかけ
6	学習指導における効果	学習指導における学校図書館の活用とその意義
7	発達段階をと読書	発達段階に応じた学校図書館メディアの選択と提供
8	指導案作成①	演習Ⅰ 学校図書館を活用した国語科教育指導案作成と指導、その評価
9	指導案作成②	演習Ⅱ 学校図書館を活用した社会科教育指導案作成と指導、その評価
10	指導案作成③	演習Ⅲ 学校図書館を活用した総合的学習の時間の教育指導案作成と指導、その評価
11	指導案作成④	演習Ⅳ 学校図書館を活用した道徳指導案作成と指導、その評価
12	学校図書館の地域への開放	演習Ⅴ 地域交流の指導案作成と指導、その評価
13	思想案作成⑤	演習Ⅵ 特別支援学校における指導案作成と指導、その評価
14	事例研究	教育課程における具体的事例の研究（小中学校）
15	司書教諭の役割	学校司書の役割と今後の学校図書館の展望